



理事長 挨拶

早野 節子

とても寒い日が続いています。大雪が降ったり、冷たい風の吹く日がまだ続きそうですが、季節は間違いなく春に向かっていきます。もうすぐ4月。新社会人がデビューを迎える時期ですね。今は、就職氷河期と言われ、皆さん苦勞していることかと思いますが、希望に向かって頑張ってもらいたいです。当法人に於いては、昨年訪問看護ステーション事業を開始し、介護と看護の緊密な連携が取れることにより、かすみ草の夢に一步近付いた気がします。さて、このような想いのなか障がいを持った方達が自ら選択し行動する自由に対し不条理と思われるエピソードを改善に向かうことを念じながら紹介します。

そのひとつ、かすみ草の利用者さんにも今春、学校を卒業する方がいらっしゃいます。ほとんどの方は、在学中に何ヶ所かの通所施設で実習し、卒後の進路を決めて4月スタートになるのですが、まだお一人行き先が決らない方がいらっしゃいます。常時呼吸器装着のため、なかなか受け入れてくれる施設がないのです。ご家族が「付き添います」と言っているのにも関わらずです。通所したいという希望に燃えている若者に対して、「呼吸器が着いているから、看護師が少ないから、在宅でいかがですか？」と簡単に言ってしまう。医療的なケアが必要な人は、それだけで選択肢が乏しくなったり閉ざされたりということになってしまうのでしょうか？それっておかしいですね。

痰吸引等の医療的ケアを、ヘルパーや特別支援学校の教師が行う事が認められて、日常生活での医療的ケアがもっと広がるはずなのに、現実には、学校でも通所施設でも受け入れは難しいのです。これでは、希望が叶わないだけでなく、希望を持つ権利まで奪われているのだと言えないでしょうか？この原稿が出る頃に、通所先が決っている事を願うばかりです。

次は1月の大雪が降った翌日のことです。車椅子で出かける方のガイドをしました。雪の残る道を車椅子で行くのはなかなか大変でしたが、「こんな日もたまには良いねえ」と話しかけながら、バス停に着き、ガラガラに空いているバスに乗ろうとしたら、その運転手が「出かけるの今日じゃなきゃ駄目なの？こんな日は出ないで欲しいなあ。」と迷惑そうに言い、嫌々スロープを出していました。(スロープを出す手間は、晴の日も雪の日も変わらないはずですが) 介助者の私だけにこっそり言うのならまだしも、利用者さんにも聞こえるような大声で面と向かって言うのです。その運転手にとって、利用者さんは車椅子と同等でしかないのでしょうか？出かける権利も、選ぶ権利も自由も、ましてやバスの運転手という自覚すら、知ったこっちゃないのでしょうか。まったく驚きました。

私達が生きていくには、希望が必要だと思います。今やりたいことができなくても、今仕事に困っていても、頑張ればきっといつか・・・！ たとえささやかでも何かしらの希望を持って生きていきたいのではないのでしょうか？ 呼吸器が付いていても、車椅子でしか出かけられなくても、希望を持って生きたいように生きていける。そんな世の中になるよう、理解を求めていきたいと思っています。



※職員紹介

高山 茂

もう何年も前のその昔、高卒後の進路が決まらずに専門学校で2年続けてNO。その間に会った本が灰谷健次郎さんの「太陽の子」、そして林竹二さんの「教えるということ・学ぶということ・授業〇〇高校で起こったこと」、確かそのようなタイトルの書籍だったと思う（曖昧で申し訳ない）。林竹二さんの本の中で、ある重度の障がい児の方が紹介されていた。入所施設で過ごしていて施設職員からは、どんな関わり方をしても反応のない人とみられていた。だが、ある養護教諭が、毎日欠かさず関わり続けたことで、反応を示さないとされていた方に、表情が現れてくる云々と書かれていた本によりはじめて重い障がいのある方々の存在を知ったのと、そういう関わり方が自分にも出来ないだろうか？と思ってしまったのが、福祉の仕事に携わる私のきっかけでした。重症児・者の施設職員として働きいつとはなしに在宅介護に移りたいなあ、1対1は魅力的だなとの想いを募らせていました。

一昨年前の12月に何度か脳梗塞を繰り返していた父が、右脳の血管に血液が流れなくなりました。福祉の仕事に携わってきた自分自身の不甲斐なさや未熟さを・・・それと同時に今しか出来ないことをやらなきゃという思いを強く持ち、昨年3月よりかすみ草のヘルパーとして稼働させて頂きました。

ご利用者の方、ご家族の方の想いに寄り添いこたえることがどこまで出来るか自信の持てない自分ですが、ヘルプの現場で大いに学ばせていただきたく思っています。どうぞ宜しくお願い致します。

ケアサポートかすみ草 職員紹介

後列左より

- ・高山 茂
（介護保険サービス提供責任者）
- ・土井 啓
（移動支援サービス提供責任者）

前列左より

- ・早野 節子
（理事長
自立支援サービス提供責任者）
- ・吉丸 直美
（ケアマネージャー）



- ・早野 航助
（ガイドヘルパー）
- ・瀧本 ちか代
（事務）



※緊急時に向けて

医療的なケアが必要ない方でも、ケア中に体調を崩したり発作が起きたりなど、ヘルパーとして緊急的な対応が求められる事があります。そんな時、的確でより良いご支援ができるようにと考え、かすみ草では、緊急時の対応をテーマに内部研修を行いました。

内容は、エスパの医師による講義で痙攣や誤飲、災害・事故などの際の対応を学んだ後、消防署の方に来て頂き、一般的な場面での「AED」の使い方を学びました。

まず医師の講義から、ケア中の緊急時の対応では、発作や体調不良、ケガなどについての基本的な知識を身に付けていることの必要性となおその上に重要なのが、利用者さんの普段の様子を知っておくということでした。

普段と言っても、生活の場面すべてを知っているわけではありませんから、要はいつものケア中の様子を常に心に留めておいて、今日は普段とちょっと違うな？と感知することが大切なのです。

利用者さんのケアをしていると、その日のテンション、顔色や目つき、呼吸の状態、手足の動きなど、はっきりと線引きができないけれど、経験によりいつもと違うと分かることがあります。それにより、もし何かが起きても冷静に対応するよう、心の準備ができますし、何もなければそれに超したことはありませんよね。



ヘルプによせて

利用者さまからのメッセージ

本橋くるみ(母)

原稿依頼を頂いてから、もう何年のお付き合いなのか?と考えていました。

契約書を引っ張り出して見てみると、娘が小4の時から利用させて頂いていることが分かり、かすみ草のヘルパーさんに助けられながら今は高1のお姉さんになりました。月日の経つ早さを実感しています。

この長い月日の間には、出産が2回と旦那の入院に私の入院などいろいろあり、その度にかすみ草さんには、家族のサポートで大変お世話になりました。障がい児を持つ親として、福祉のサービスのありがたみがとても身にしみて分かり、私達に出来る事をとの思いから、2年前に障がい児を放課後お預かりする施設を開所しました。利用してくれる児童・生徒さんも増え何とか軌道にも乗りました。

定員がある施設で日々待機待ちの子供達が増えていく中で、もっと多くの子供達の放課後の余暇活動の場を提供する為に、今年3月に2ヶ所目の施設を開所することになりました。私達が仕事に忙しくしていただけるのも、かすみ草さんがサポートしてくれているおかげです。

これからもますます忙しくなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

ヘルパーからのメッセージ

富本 美絵子

新年を迎えこの時期になると思い出す事があります。5年前の冬、私は杉並区に引っ越して参りました。新居に荷物を運び終えた引越し業者のトラックを見送り、なかなか暖まらない室内で昼食をとりながら、区役所でもらったガイドマップと広報を見ているうちに、早くもホームシックになった事は今では良い思い出です。それまで私は中央線沿線の市部に10年以上住んでいながら、阿佐ヶ谷・荻窪は降りたことがありませんでした。タウンセブン? パールセンター?あの時は知らない事ばかりでした。今ではご利用者様と一緒に食事をする時に欠かすことの出来ないタウンセブンのカプチーナ。七夕祭りも、毎年どの作品が金賞をとったか確認しないと気がすまなくなっています。京王八幡山駅の住所って杉並区だったんだ!大宮八幡神社が「東京のへそ」と言われる理由ってそういうこと!など新たな地域情報をご利用者様から耳にする事もたびたびあります。多くのご利用者様が杉並区近郊にお住まいのこととします。私にとっても今ではまさに住み慣れた地域、これからもここで暮らしていきたいと思える街です。そんなこの街で、ご利用者様お一人お一人の思いを大切にしながら、「安心・安全」をモットーに今年もかすみ草のヘルパーとして皆様のお宅に訪問いたします。皆様の笑顔がキラキラ輝く素晴らしい年になりますよう、少しでもお役に立てれば幸いです。

→ また、表情に元気がないとか、痰がからまりやすいとか、病気とは言えないけれど普段と違うと感じたら、記録に残してご家族に知らせます。ご自分で訴えることのできない利用者さんの介護では予防的対応がとても大切になりますので、お節介なくらい、注意深く見守らせて頂きたいと思っています。

次に「AED(自動体外式除細動器)」の取り扱いの実際です。この医療用機器の存在は知っていましたが、使い方となると分かりませんでした。

消防隊員の方達の熱心で楽しい説明を聞き、実際に「AED」の機械を使わせて頂き、よく理解することができました。いざという時には落ち着いて対応したいと思います。

どちらにしても緊急時の対応で一番大切なことは、「備える」ことだと実感しました。ご利用者の安全安心のためにも、心と知識の両面で備えていきたいと思っています。(早野 節子)





○10月14日(日) 昭和記念公園にて

今年はプロの料理人が助っ人として入り
グルメな料理が盛りだくさんで舌鼓！！

いきいきホリデー

○12月16日(日) すぎのき生活園にて

何といっても生バンドの演奏は、迫力満点！！
皆がリズムに酔いしれました。手作りビンゴも楽し
かったよ



※ 平成24年度 活動報告

- 8月 内部研修 映画上映会
「普通に生きる」
- 10月 いきいきホリデー (バーベキュー)
- 11月 内部ヘルパー研修会
- 12月 いきいきホリデー (クリスマス会)
- 25年
- 2月 会報冬号発行

※ 平成25年度 活動予定

- 4月 いきいきホリデー (お花見会)
- 5月 平成25年度 定期総会
- 6月 内部ヘルパー研修会
- 7月 いきいきホリデー (プール指導)
- 8月 鑑賞会
会報夏号発行
- 9月 内部ヘルパー研修会
- 10月 いきいきホリデー (バーベキュー)
- 12月 いきいきホリデー (クリスマス会)

- ・ 随時：理事会・事務局会議
- ヘルパー会議：毎月第4日曜日

※ 募 集

- (1) 賛助会員募集：
目的に賛同し、活動を援助する個人・団体
で、総会の決議権を有しない会員
- (2) ボランティア募集：
趣味・特技そして時間を生かして、障がいのある
方々へのお手伝いや、いきいきホリデー等の
イベントを支援する活動に参加・協力をお願い
しています。
- (3) ヘルパー募集：
ケアサポート「かすみ草」は、重い障がいを持た
れた方へのヘルプを中心に活動しています。
チームワークと研鑽がモットーです。
- (4) 看護師募集：
地域の在宅医療の一翼を担い、医療の原点といわ
れる障がいの重い方達等の居宅生活を支える活
動をしています。

「かすみ草」まで電話・FAX・メールにて、ご一報下さい

※ 編集後記

今年は例年になく厳しい寒さ、先月の成人の日には寒波と急速に発達した爆弾低気圧の為、大雪
となった東京。立春は過ぎたとはいえ今後も降雪とインフルエンザに要注意。ご自愛ください。